

坂井先生からの電話は毎回緊張しますわ～・・・な久田です( ^\_^ )

今回はサンフェイスのテイサービスでも使っているVOCAの話です。「VOCAを使うと発語が減るのでは？」と心配される方も居られるようですが、実は逆！逆に増える事が多いという統計も出ているようですよ！是非導入してみては？

## 第12回 『わかるように伝えていきますか』

香川大学 坂井 聡

ハイテクのコミュニケーションエイド VOCA

### VOCAの特徴

VOCAはVoice Output Communication Aidのことでヴォカと読みます。音声を出力することのできるコミュニケーションのための補助機器のことです。

VOCAの特徴は、何と言っても音声を出力することができることです。簡単なスイッチ操作一つで、あらかじめ登録しておいた音声を出力することができるのです。音声が出力されるので、相手に気づいてもらいやすくなります。

つまり、伝達性が高くなるということです。つまり、周囲の人に伝わりやすいという特徴をもっているのです。

例えば、向こうを向いている人がいた場合でも、音声で伝えることができれば、こちらを向いてもらえるということです。

この特徴をうまく使うことができれば、音声表出を苦手としている子どもでもコミュニケーションが成立するという快の経験を味わうことができると考えられるのです。

### 自動販売機とVOCA

みなさんが関わっている子どもたちの中には、自動販売機であればジュースを選ぶことができるのに、「どっちにするの」と手に持ったものを選んでもらおうとすると、選ぶことができない子どもも多いのではないのでしょうか。

つまり、人が介在すると選ぶことができないけれど、人が介在しない自動販売機なら選ぶことができるということです。

VOCAには自動販売機のような役割をもたせることができます。VOCAに示されたシンボル（オーバーレイ上にあるシンボル）を選んで押すことで、要求を満たすことができるようになるからです。

もちろんそのように使うことができるように環境設定をする必要はありますが。しかし、VOCAと自動販売機との間には決定的な違いがあります。それは、自動販売機の場合は、自動販売機からジュースなどが出てきますが、VOCAの場合は、人がその要求をかなえてくれるという違いです。

自分でアクションをかけたら、人がやってきて望みをかなえてくれる。それも特定の人だけに伝わるのではなく誰にでも伝わる。このような経験の繰り返しは、人に対する自信も育てることになるのではないのでしょうか。VOCAを使っている子どもが、最初は決まった場所ではしか使わなかったのに、VOCAをそばまで持ってきて伝えるようになる様子を目にすることは少なくありません。この瞬間が、VOCAが自動販売機から、人に対して伝えるための道具として機能したときだと考えられるのです。

どうやって使おうか？より、どの場面で使おうか？

VOCAを使おうと考えている人からよく質問を受けます。それは、「どうやって使ったらいいでしょうか」という質問です。

しかし、このような質問をされたら相談に応じる方も困ってしまいます。なぜならば、一日のうちでVOCAを使うことができる場面はいくらでも設定することができるからです。しかし、VOCAに登録することができる音声は限られています。すべての場面で使うことは不可能なのです。ですから、「どのように使うのか」を考えるより、「どの場面で使うのか」を考えることが、VOCAを使うアイデアを考える上で大切なのです。どの場面で使うのかを考えると、VOCAに入れる言葉もその使い方も見えてくるからです。使う場面を考える際に考慮する点として、できるだけ毎日使うことができるような場面を考えることがあげられます。使う回数が多ければ多いほど、コミュニケーションが成立する回数も多くなると考えられるからです。

また、特別な場面でも使うことが考えられます。たとえば、朝礼の司会をしたり、多くの人の前で発表したりする機会も作ることもできるということです。今までは、朝礼の司会や発表などの役割りは、音声表出ができる子どもが多かったと考えられますが、VOCAを使うと簡単に音声を登録し、再生させることができるので、音声表出を苦手としている子どもも発表の機会を得ることができるということなのです。

いろいろな場面でVOCAを使ってみませんか？

### 坂井聡先生の紹介

(プロフィール)

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授 1997年 自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞(著書)

暮らしの中のコミュニケーション(やまびこの里) クラスルームコミュニケーション(こころリース出版会) 自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア(エンパワメント研究所)など